

日時	令和2年2月5日（水） 9時15分～9時50分
科目	講義 函館の文化財
内容	指定文化財・登録文化財について
講師	函館市教育委員会生涯学習部文化財課 主査 野村 祐一
参加者	42名（技術者：26名，特別聴講者：16名）

文化財保護法

○文化財とは

長い歴史の中で生まれ、育まれ、
今日まで伝えられてきた
貴重な財産

○文化財の区分

国（文化庁）－ 指定・登録・選定
都道府県 － 北海道指定
市町村 － 函館市指定



野村講師の講義

函館市の文化財

国指定文化財	19件
国選定文化財	1件
国登録文化財	21件
道指定文化財	19件
市指定文化財	89件
合計	149件

登録有形文化財建造物の優遇措置

● 相続税の控除

相続財産評価額（土地を含む）

10分の3

〔国税庁通達〕

● 固定資産税の減税

家屋分

2分の1

〔地方税法〕

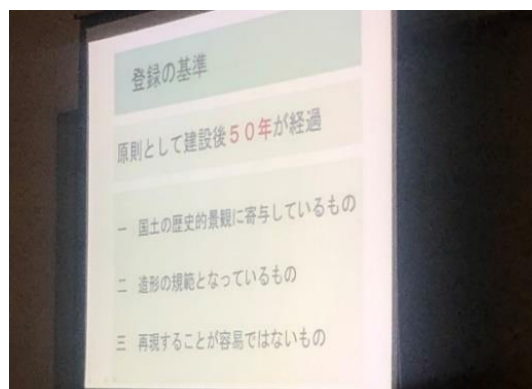
国庫補助事業

● 保存修理事業

保存・活用に必要な修理等の
設計監理費

● 観光拠点整備事業

（磨き上げ事業）
観光の核となる建造物の
活用整備・美観向上経費



文化財の区分・種類と、函館市内の文化財造物の特徴を写真とともに紹介。
函館には多数の文化財があり、そのうち建造物は33件ある。北海道にある国の登録有形文化財（建造物）150件の内、函館市は20件となっており、現在登録されていない建築物でも、登録の基準を満たしているものが多数存在している。個人で歴史的建造物を維持し続けることは難しく、国の補助制度が維持・保全の支えになっている。

日時	令和2年2月5日（水） 10時00分～12時00分
科目	講義 伝統的建築技術
内容	木を生かす千年の知恵と技術を未来へ伝え残したい
講師	社寺工舎 代表 菊池 恭二 氏
参加者	42名（技術者：26名，特別聴講者：16名）

1 宮大工になった経緯

- (1) 住宅建築，修行
- (2) 地元の寺で鐘楼堂工事の手伝い
- (3) 奈良 薬師寺金堂再建工事参加，法隆寺大工（故）西岡常一棟梁との出会い
- (4) 薬師寺西塔再建工事に参加

2 社寺建造物の新築，修理について

- (1) 初めて棟梁した多宝塔建築，五重塔建築
- (2) 重要文化財 東京 池上本門寺五重塔保存修理工事
- (3) 東京 護国寺月光殿保存修理工事

3 寺社建築における木材

- (1) 古い建築物の材種
- (2) 木材の耐久性，腐朽性，横荷重の耐久性
- (3) 丸太材の良材の見分け方
- (4) 木材には背と腹がある
- (5) 社寺建築の木の使い方

4 人材育成・技術継承について

- (1) 弟子に仕事を任せる
- (2) 仕事の失敗
- (3) 目を見て話す



菊池講師の講義

(4) 師匠がやって見せて弟子に仕事をさせる

(5) 言葉や文字では伝わらないこと（相手同士の気持ちが阿吽で伝わる）



木材を見る参加者



槍鉋（やりがんな）を説明する菊池講師

職人の世界は、仕事も人材の育成も見て覚えるものであり、物を作る職人の思いが仕事に表れる。

薬師寺金堂の再建工事では、法隆寺の宮大工である西岡棟梁の側で簡単な仕事や手伝いを努めた経験から、研ぎ澄まされた感性を養うことができた。

人材の育成のためには、人の目を見て話すことの大切さ、人への指示の仕方などを見て学び、自らも行っている。また、仕事の失敗があっても、それを怒らず次につなげるため考えさせ、失敗を隠さないように弟子に伝えている。

日時	令和2年2月5日（水） 13時00分～16時00分
科目	見学研修1
内容	改修現場見学（旧函館区公会堂）
講師	公益財団法人文化財建造物保存技術協会事業部 管理室 参事 中内 康雄 氏 札幌管理事務所 技術主任 富沢 晃 氏
参加者	42名（技術者：26名，特別聴講者：16名）



見学研修参加者



中内講師の説明（2階大広間）



富沢講師から床材リノリウムの復元についての説明（2階大広間）



中内講師の説明（左：1階正面入口・右：2階バルコニー）



建築当初からの貴重な材料が多く使われているため、残せるものは残し、傷んだ部分だけを新材に交換する。しかし、建築当初と同じ材料の製造が難しい状況が生じているため、今後、デジタル技術や化学的材料を用いた工夫が必要となる状況にどのように対処するかについて説明を受けた。